

令和 8 年第 2 回米子警察署協議会開催状況

開催日時	令和 8 年 6 月 25 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで	
開催場所	米子警察署	
出席者	委員 (定数 12 人)	湯浅会長、小林副会長、小西副会長、澄川委員、岡田(隆)委員、吉村委員、長谷川委員、辻谷委員、足立委員 以上 9 人
	警察	濱部署長、平信副署長、井口刑事官、足立地域・交通管理官、福田会計管理官、池本警務課長、木村留置管理課長、田中生活安全課長、平尾地域課長、石亀刑事第一課長、本多刑事第二課長、安達交通第一課長、岩田交通第二課長、田口警備課長、警務課員 以上 15 人
議 事 概 要		
1 挨拶 会長及び警察署長が挨拶を行った。 2 自己紹介 米子警察署幹部及び協議会委員が自己紹介を行った。 3 監察の取組状況 警察署長が、監察の取組状況について報告した。 4 質疑等 事前に配布したアンケートにより、委員から匿名・流動型犯罪の定義等について質疑があり、刑事第二課長が説明した。委員からの主な意見とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：栃木県の強盗殺人事件では、高校生 4 人の事件関与が報道されていた。どうしたらこのような事件を防ぐことができるのかを考えたが、犯人として捕まれば、その家族等も家には住みづらくなる。自分が捕まるだけでは済まないということもアピールしてもらいたい。 警察：小学生、中学生、高校生に対して啓発活動を推進していく。 次に、交通第二課長が、自転車運転者による交通違反の現状等について説明した。委員からの質疑とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：自転車に対する交通反則通告制度に関する道路交通法の一部改正後、中高生は自転車のルールを意識していると感じるが、一般利用者の意識変化はないように感じるが、どのような状況か。 警察：高齢者を始めとした自転車利用者に対しては、引き続き講習等を実施して、制度の周知及び意識の改善に努めていく。 5 若手警察官との懇談 若手警察官が自己紹介等を行った後、委員から、次のとおり質疑等があった。 委員：民間企業から転職して警察官として採用された方は、警察と民間とのギャップを感じたか。また、民間企業での経験を生かせることがあるか。 警察：公共の安全と秩序の維持といった警察固有の責務があり、民間よりも規範は厳しいと感じる。民間企業での経験について、マナーや言葉遣いが役立つ場面がある。 委員：今後どのような部署に配属されるのか。 警察：本人の希望や適性等によって勤務部署が決まっていく。 委員：警察は男社会のイメージが強いが、女性警察官から見てどうか。 警察：男社会だと感じることはなく、女性が活躍する場面も多いと感じている。 委員：女性警察官の活躍に期待している。 委員：仕事で辛くなり、辞める人もいると思うが、そのようなときに相談できる場所はあるか。 警察：同期生や、職場実習の指導員に相談できる。 委員：警察学校での厳しい訓練に耐え、交番に出てこられたと思うと頭が下がる。今後も県民のために頑張ってもらいたい。 6 その他 次回協議会は、令和 8 年 9 月頃に開催する予定である。		